3-247-850-**03**(1)

ポータブルミニディスクレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MZ-B10

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6〜9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら

❶ 電源を切る
❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く、電池を取り出す
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

強制

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ポータブルミニディスクレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
  （お問い合わせ先　（社）私的録音補償金管理協会　Tel.03-5353-0336）

💡は知っていると便利な情報のマークです。

目次

使いかた編

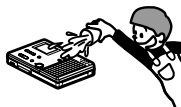
困ったときは・Q&A編

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

国内専用機は海外で使用しない

ワールドモデル以外のACパワーアダプターは日本国内専用です。
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

指定以外のACパワーアダプターやカーバッテリーコードなどを使わない

破裂・液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ、破裂、発熱、発火、誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニッケル水素
(Ni-MH)
リチウムイオン
(Li-ion)

乾電池
アルカリ

ボタン型電池
アルカリ、リチウムなど

⚠危険　充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定された充電器以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。

⚠警告　乾電池・ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池を使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

充電式電池、乾電池が液漏れしたときは

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液を触らない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が出てくることもあります。

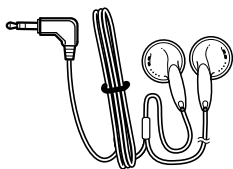
⚠注意　全ての電池について

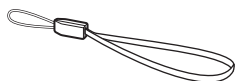
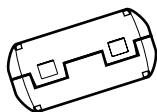
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

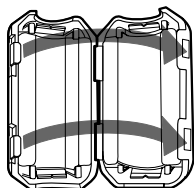
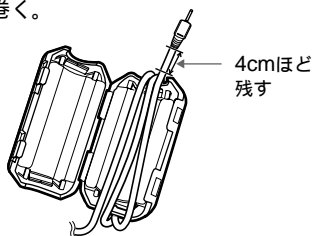
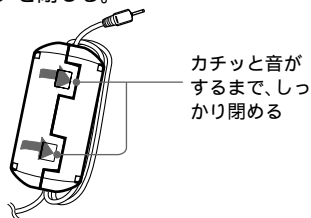
付属品を確かめる

●ステレオイヤーレシーバー（1）

●キャリングポーチ（1）

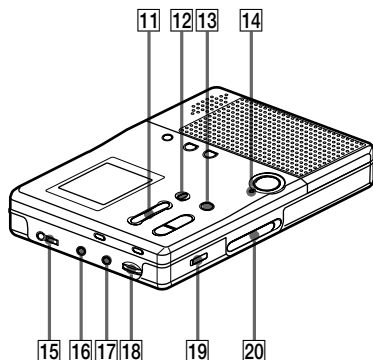
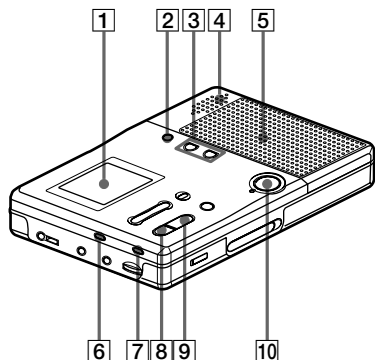
●ハンドストラップ（1）

●ACパワーアダプター用コア（1）
別売りのACパワーアダプターをお使いになるときに、取り付けてください。

●ソニーアルカリ乾電池（2）
●取扱説明書（1）
●保証書（1）
●ソニーご相談窓口のご案内（1）

別売りのACパワーアダプターをお使いになるときは

ACパワーアダプターをお使いになる前に、下記の手順で付属のコアをACパワーアダプターに取り付けてください。

① コアを開く。

② ACパワーアダプターのコードをコアに巻く。

③ コアを閉じる。

各部のなまえとはたらき

（　）内のページに詳しい説明があります。

本体表面

1 表示窓（20、27、32、36）

2 メニュー／ENTERボタン（25、27、31、36、41）
メニューを使って様々な設定することができます。

3 スピードコントロール+、–ボタン（28）
再生音を早くしたり遅くしたりすることができます。

4 内蔵マイク（16）

5 スピーカー（18）

6 録音モードボタン（15、20）
録音する際、標準モードのSP録音をするか、2倍、4倍長く（MDLP）録音するかを選べます。

7 グループボタン（34、35）
グループの頭出しをするときに使います。

8 ■・停止ボタン（16、18、32、37、41）

9 ►・再生ボタン*（16、18）

10 録音ボタン（16、20、34）

11 ⏮・レビュー・頭出し、⏭・キュー・頭出しボタン（16、19、25、27、30、34、41）

12 トラックマークボタン（26、30）
頭出しマークをつけ、録音内容を分けることができます。

13 ❚❚・一時停止ボタン（16、19、30）

14 録音ランプ（16、17、23）
録音中に点灯します。

15 🎧（ヘッドホン）ジャック（16、18）
ステレオイヤーレシーバーをつないで聞くときは、ここにつなぎます。

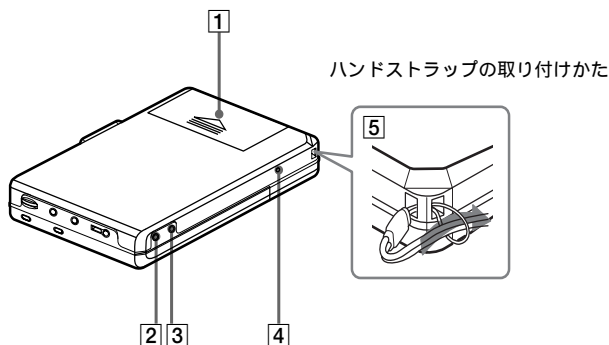
16 マイク（プラグインパワー）ジャック*（21）
別売りのステレオマイクを使うときはここにつなぎます。

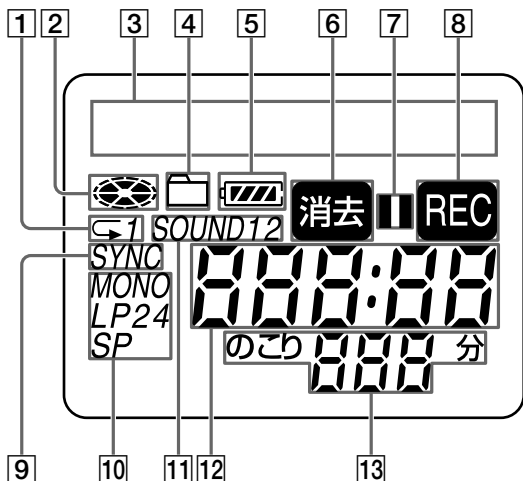
次ページへつづく

17 外部入力（オプティカル）ジャック（23）
CDなどから録音するときは、ここに別売りの光ケーブルやアナログ接続コードをつなぎます。
18 音量つまみ** （18）
19 HOLDスイッチ（14）
矢印の方向にずらすと、本体の操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。
20 OPENつまみ（15、18）

* 凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

** 音量「大」の方向に凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

本体裏面

1 電池入れ（14）
ここに単3アルカリ乾電池を2本入れます。
2 消去ボタン（32、39）
一区切りの録音内容を消したいときに押します（再生中）。
3 全消去ボタン（33）
ディスク全体を消すときに、このボタンを押しながら、消去ボタンを押します。
4 DC IN 3Vジャック
別売りのACパワーアダプターを使うときはここにつなぎます。
5 ハンドストラップ用穴

表示窓

1 再生状態表示（29）
選ばれている再生モードを表示します。

2 ディスク表示
録音、再生のとき、ディスクが回転していることを示します。

3 文字情報表示部（20、27、32、36）
ディスク名やグループ名、録音内容名、エラー表示、録音内容番号などが文字で表示されます。

4 グループ表示（35）
グループ再生中に点灯します。グループを選んでいるときは点滅します。

5 電池残量表示（45）

6 消去表示（32）
消去ボタンが押されたときに点灯します。

7 一時停止表示

8 録音表示（16、26）
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。

9 シンクロ録音表示（25）
シンクロ録音時に点灯します。

10 SP／LP2／LP4／モノラル表示（20）
録音中は選択している録音モードを、再生中は録音内容のSP/LPモードを表示します。

11 サウンド表示（27）
サウンドモード（SOUND1、SOUND2）が選ばれているときに表示されます。

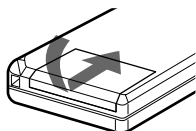
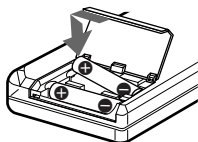
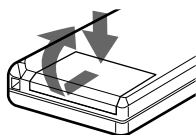
12 時間表示
再生中、停止中に経過時間を表示します。

13 残り時間表示（20）
停止中、録音中に、ディスクの録音できる残り時間を表示します。

ここだけ読んでも使えます

準備する

ここでは乾電池での使い方を説明します。コンセントにつないで使う場合は「コンセントにつないで使う」（46ページ）をご覧ください。

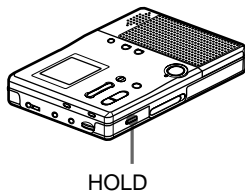
1 アルカリ乾電池を入れる

① 底面の電池ぶたを矢印の方向へ押しながらずらして開ける

② 単3形アルカリ乾電池2本（付属）を入れる

③ ふたを閉める

ご注意

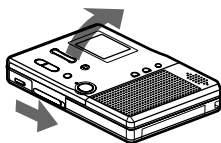
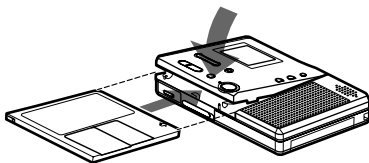
- マンガン乾電池は使用しないでください。録音できないことがあります。
- ⊕端子と⊖端子の向きは、本体の表示に合わせて正しく入れてください。

2 ホールド（誤操作防止機能）を解除する

① HOLDスイッチを矢印と反対の方向へずらす。

ここだけ読んでも使えます

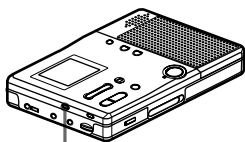
録音する

内蔵マイクで録音ができます。録音用ミニディスクの誤消去防止つまみが閉まっていることを確認してください（48ページ）。また、なるべく新しいアルカリ乾電池をお使いください。マンガン乾電池では録音できないことがあります。

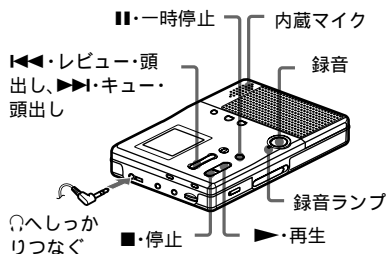
1 録音用ミニディスクを入れる

① **OPENつまみを右にずらす。**
ふたが開きます。

② **ディスクのラベル面を上にして、矢印の方向へ奥まで押し入れ、ふたの中ほどを押してしっかり閉める。**

2 マイク感度を選ぶ

お買い上げ時は、会話など通常の音量のものを録音するための設定（「SENS HIGH」）になっています。
口述録音など、マイクに近付けて録音する時は、設定を「SENS LOW」に変えてください。（詳しくは「マイク感度を変える」（42ページ）をご覧ください。）

3 録音モードを選ぶ

録音モードはSP、LP2、LP4、モノラルがあります。（詳しくは「長時間録音する（MDLP）」（20ページ）をご覧ください。）お買い上げ時の設定はLP4になっています。
必要に応じて録音モードを変えてください。

次ページへつづく

4 録音する

録音ボタンを押す。
「REC」が表示され、録音ランプが点灯し、録音が始まります。
録音状態は表示窓と録音ランプで確認できます（17ページ）。

空のディスクは最初から、既に何か録音されているディスクは録音済み部分の後ろから、自動的に録音が始まります。

止めるには、■•停止ボタンを押す。
■•停止ボタンを押して停止してから、電池使用時では約30秒後、ACパワーアダプター使用時では約5分後に、自動的に電源が切れます。

録音中の音を聞くには
🎧ジャックにステレオイヤーレシーバーをつなぎます。聞こえる音の大きさは音量つまみで調節できます。ただし、録音される音の大きさには影響しません。録音レベルは自動的に設定されます。

こんなときは	操作
録音した内容の途中から新しく録音する	① ▶・再生、I◀◀・レビュー・頭出し、または ▶▶I・キュー・頭出しボタンを押して録音を始めたい位置を探し、II・一時停止ボタンを押す。 ② 録音ボタンを押す（録音一時停止）。 ③ II・一時停止ボタンを押す（録音開始）。
一時停止する[1]	録音中にII ・一時停止を押す。 もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	① ■・停止ボタンを押し、録音を止める。 ②「TOC Edit」の表示が消えたことを確認する。 ③ 本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける。

1) 録音一時停止中は録音ランプが点滅します。また、マイク録音では、一時停止しても頭出しマークはつきません。

録音が始められないときは

- ホールド（誤操作防止状態）になっていませんか（12、14ページ）。
- ディスクの誤消去防止つまみが開いていませんか（48ページ）。
- 再生専用のミニディスクは録音できません。

録音状態を確認する

録音ランプが点灯または点滅して、録音の状態をお知らせします。

録音の状態	表示
録音中	点灯 マイク録音中は音の強弱に合わせて点滅（ボイスミラー）
録音一時停止	点滅
録音中ディスクが残り3分以下のとき	ゆっくり点滅
頭出しマーク（区切り番号）が追加されたとき*	一瞬 消灯

* 手動で頭出しマークを追加したときや、オートタイムマーク機能で追加したとき（26ページ）を除く。

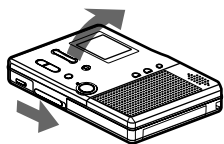
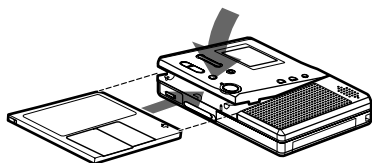
ご注意

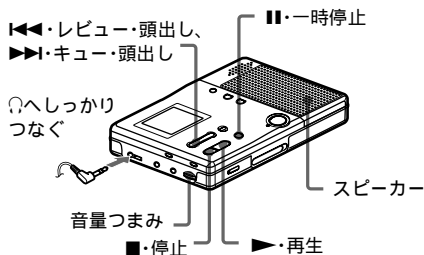
- 長時間録音するときは別売りのACパワーアダプターAC-E30LをDC IN 3Vジャックにつないでお使いになることをおすすめします。
- 録音中および録音終了後、「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。
- 録音中、またその後、■・停止ボタンを押してから「TOC Edit」の表示が消えるまでに電池をはずしたり、ACパワーアダプター（別売り）を抜いたり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたは開きません。
- 「TOC Edit」表示の点滅中は、録音した情報（開始／終了位置など）をディスクに記録しています。衝撃を与えたり、電源を抜いたりするとそれまで録音した内容が記録されません。
- マイクで録音中は、動作音も録音されることがあります。
- マイク（プラグインパワー）ジャックに別売りの外部マイクがつながれていると、内蔵マイクからは録音できません。
- 別売りの光デジタルケーブルまたは接続コードが外部入力（オプティカル）ジャックにつながれていると、内蔵マイクからは録音できません。

ここだけ読んでも使えます

再生する

録音したミニディスクや再生専用ミニディスクを再生します。本機に内蔵されているスピーカーからの再生音はモノラル音声で出力されますが、ステレオイヤーレシーバーをつなぐと、ステレオ録音された音はステレオ音声で聞くことができます。

1 ミニディスクを入れる

① OPEN**つまみを右にずらす。**
ふたが開きます。

② **ディスクのラベル面を上にして、矢印の方向へ奥まで押し入れ、ふたの中ほどを押してしっかり閉める。**

2 聞く

① **▶・再生ボタンを押す。**

② **音量つまみを回して音量を調節する。**

止めるには、■・停止ボタンを押す。
次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。ディスクの最初の録音内容から再生を始めたい場合は、▶・再生ボタンを2秒以上押して再生を始めてください。
■・停止ボタンを押して停止してから電池使用時では約30秒後、ACパワーアダプター使用時では約5分後に、自動的に電源が切れます。

ステレオで聞くには
ステレオイヤーレシーバーを本体の🎧ジャックにつないで聞きます。

こんなときは	本体操作
一時停止する	❚❚・一時停止ボタンを押す。もう一度押すと解除されます。
今聞いている録音内容、またはさらに前の録音内容を頭出しする[1]	I◀◀・レビュー・頭出しボタンを短く押す。さらに戻したい録音内容の数だけI◀◀・レビュー・頭出しボタンを押す。
次の録音内容の頭出しをする[2]	▶▶I・キュー・頭出しボタンを短く押す。
再生しながら早戻し（レビュー）、早送り（キュー）する	I◀◀・レビュー・頭出し、または▶▶I・キュー／頭出しボタンを押したままにする。
経過時間を見ながら、聞きたい場所を探す（タイムサーチ）	一時停止中、I◀◀・レビュー・頭出し、または▶▶I・キュー・頭出しボタンを押したままにする。
曲番を見ながら聞きたい場所を探す（インデックスサーチ）	停止中、I◀◀・レビュー・頭出し、または▶▶I・キュー・頭出しボタンを押したままにする。
ディスクを取り出す	■・停止ボタンを押してから、OPENつまみを右にずらしてふたを開ける[3]。

[1] 最初の録音内容でI◀◀・レビュー・頭出しボタンを押すと、ディスクの最後の録音内容になります。
[2] 最後の録音内容で▶▶I・キュー・頭出しボタンを押すと、ディスクの最初の録音内容になります。
[3] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

再生が始められないときは

ホールド（誤操作防止状態）になっていませんか（12、14ページ）。

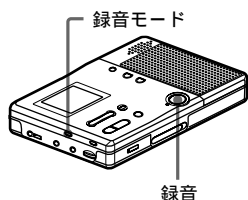
録音された方法により、ステレオ再生／モノラル再生は自動的に切り換わります。

ご注意

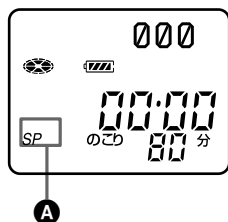
- ジョギング中など、連続的な振動が加わる状況で使用すると、再生中に音飛びすることがあります。
- 動作中に電池をはずしたり、ACパワーアダプター（別売り）を抜いたり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたが開かないことがあります。

長時間録音する(MDLP)

通常の標準モード録音（SP）に加えて、録音時間を2倍（LP2)、4倍（LP4）長くして録音することができます（MDLP録音)。また、モノラル録音でも通常のSP録音よりも2倍長く録音することができます。

本機で長時間録音した内容は、長時間再生に対応していない他の機器では再生できません。

1 録音用ミニディスクを入れる。

2 録音モードボタンをくり返し押してお好みの録音モードを点灯させる。

押すたびにⒶは次のように変わります。

録音モード[1]	Ⓐ	録音時間[2]
SP録音	SP	約80分
LP2録音	LP2	約160分
LP4録音	LP4	約320分
モノラル録音	MONO	約160分

[1] より高音質の録音を行いたい場合は、SP録音、LP2録音を選んでください。

[2] 80分ディスク使用時。

3 録音ボタンを押す。

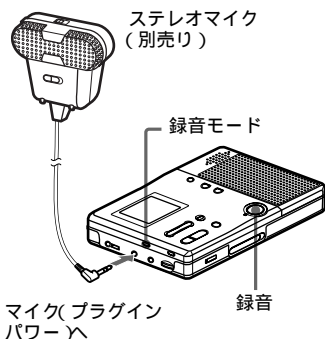
録音の操作について詳しくは「録音する」（15ページ）をご覧ください。

- SP/LP2/LP4モードを選んだ場合、別売りのステレオマイクを接続したり、他のステレオ機器から接続コードで外部入力（オプティカル）ジャックにつなぐとステレオで録音されます。内蔵マイク（モノラル）で録音する場合は、左右のチャンネルに同じ音が録音されます。
- 録音一時停止中でも操作できます。録音一時停止中に録音モードを変えると、自動的にその場所に頭出しマークをつけることができます。
- MDLP または MDLP ロゴのある機器が「LP2」、「LP4」に対応しています

ご注意

- 長時間録音するときは別売りのACパワーアダプターをDC IN 3Vジャックにつないでお使いになることをおすすめします。
- 光デジタル入力で録音中の音は、モノラル録音中でも🎧ジャックからステレオ音声で出力されます。
- LP4録音は、通常の4倍の長時間ステレオ録音を実現するために、特殊な圧縮方式を採用しています。そのため、録音元の音源によってはごくまれに瞬間的なノイズが発生することがあります。より高音質の録音を行いたい場合は、SP録音またはLP2録音を選んでください。

ステレオマイクで録音する

別売りのステレオマイクECM-719などを本体につないで録音することができます。入力は自動的に外部マイク入力に切り換わります。

1 録音用ミニディスクを入れ、必要に応じてマイク感度を設定する。

「マイク感度を変える」（42ページ）をご覧ください。

2 録音モードボタンをくり返し押して「SP」、「LP2」、「LP4」、または「MONO」を点灯させる。

録音モードについて詳しくは「長時間録音する」（20ページ）をご覧ください。

3 録音ボタンを押す。

録音の操作について詳しくは「録音する」（15ページ）をご覧ください。

プラグインパワー方式のマイクを本機につなぐと、本機からマイクに電源を供給します。そのためマイク用別売り電池は不要です。
別売りのステレオマイクECM-719をご使用の場合、マイク側のスイッチを「OFF」にすると、本機からマイクに電源を供給します。マイク側のスイッチを「OFF」にして使用することをおすすめします。

ご注意

- 光デジタル入力、外部マイク入力、アナログ入力、内蔵マイク入力の順に優先して自動的に選択します。光デジタルケーブルが外部入力（オプティカル）ジャックにつながっていると、外部マイク入力になりません。
- モーター音など本体の動作音を収音することがあります。そのときは、マイクを本体から遠ざけて録音してください。ダイレクト接続タイプのマイクはノイズを拾うことがあるので、ご注意ください。

他の機器から録音する

本機はCDプレーヤーやラジカセなどの機器とつないで、録音をすることができます。つなぎかたには、光デジタル入力を使うつなぎかたとアナログ入力（LINE IN）を使うつなぎかたの2つの方法があります。
それぞれの録音のしかたは、光デジタル入力を使うときは「デジタル入力で録音する」（23ページ）、アナログ入力（LINE IN）を使うときは「アナログ入力で録音する」（24ページ）をご覧ください。

本機の外部入力（オプティカル）ジャックはデジタル・アナログ両用です。
つなぐケーブルの種類により、光デジタル入力またはアナログ入力（LINE IN）に自動的に切り換わります。

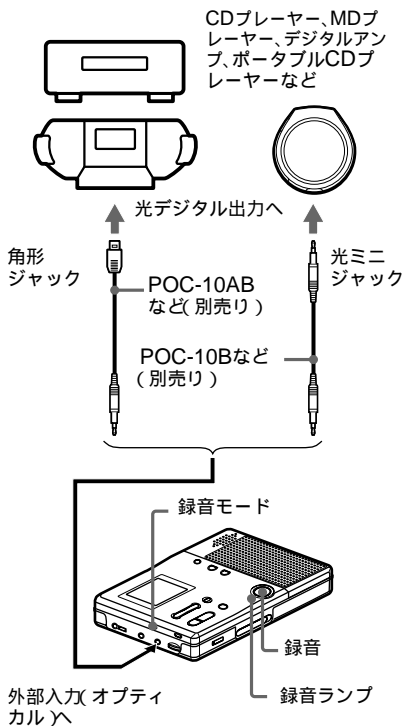
光デジタル入力とアナログ入力の比較

相違点＼入力の種類		**光デジタル入力**	**アナログ入力**（LINE IN）
つなぐことができる機器		光デジタル出力ジャックのある機器	出力（LINE OUT）ジャックのある機器
使用するコード		光デジタルケーブル（録音もとの機器に角形プラグまたはミニプラグをつなぐ）（23ページ）	接続コード（録音もとの機器にピンプラグまたはステレオミニプラグをつなぐ）（24ページ）
録音もとから送られる信号		デジタル信号	アナログ信号 CDなどデジタル方式のものを録音もととしても、本機にはアナログ信号として送られる。
録音の結果	頭出しマーク	• 音源がCDやMDの場合、録音もとと同じ場所に自動的につく。 • 音源がCDやMD以外の場合、2秒以上の無音や小さな音が続いた場所につく（61ページ）。 • シンクロ録音中に、3秒以上の無音が続くと録音を一時停止したところで自動的につく（61ページ）。 不要なマークがついた場合、録音後に消してください（「頭出しマークを消す」30ページ）。	• 2秒以上の無音（61ページ）や小さな音が続いた場所につく。 • 録音を一時停止したところで自動的につく。 不要なマークがついた場合、録音後に消してください（「頭出しマークを消す」30ページ）。
	録音される音の大きさ	録音もとと同じ。	自動調節される。

ご注意

次のような場合、録音もとと同じ場所に頭出しマークが記録されないことがあります。
- 一部のCDプレーヤーやマルチディスクプレーヤーから、光デジタル入力で録音する場合
- CDやMDソフトをプログラム演奏などにして光デジタル入力で録音する場合 (このような場合には、録音もとを通常の再生状態にしてミニディスクに録音してください。)
- BS、CS放送の番組を光デジタル入力で録音する場合

デジタル入力で録音する
（光デジタルケーブルが必要）

本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、光デジタル出力のあるDATデッキやBSチューナーなど、サンプリング周波数の違うデジタル機器と光デジタルケーブルでつなぐとデジタル録音できます。

1 **録音用ミニディスクを入れる。**

2 **録音モードボタンをくり返し押して「SP」、「LP2」、「LP4」、または「MONO」を点灯させる。**

録音モードについて詳しくは「長時間録音する」（20ページ）をご覧ください。

3 **録音ボタンを押す。**

「REC」が表示され、録音ランプが点灯し、録音が始まります。

4 **録音もとの機器の再生を始める。**

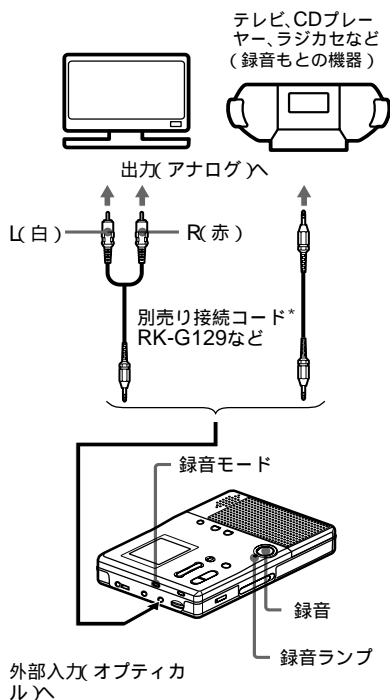
その他の操作は「録音する」（15ページ）をご覧ください。

- デジタル録音中は、録音内容につく区切り番号は音源のCDやMDと同じものが自動的につきます。
- デジタル録音するときは、シンクロ録音をすると、録音元の音に合わせて、録音を自動的に始めたり止めたりするので便利です（25ページ）。

ご注意

- 光デジタルケーブルは、光（オプティカル）タイプ以外のデジタル出力につなぐことはできません。
- ポータブルCDプレーヤーから録音するときは
  - — ACパワーアダプターを接続していないと、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。
  - — ポータブルCDプレーヤーにACパワーアダプターをつなぎ、家庭用電源でお使いください。
  - — 音飛びガード機能（ESPなど）は「切」にしてください。
- **II**・一時停止ボタンを押したあと、もう一度押して一時停止を解除すると、解除したところで区切り番号が1つ増え、そこから次の録音内容として記録されます。

アナログ入力で録音する（接続コードが必要）

つなぐには別売りの接続コードが必要です。コード類をつなぐときは、奥までしっかりと差し込んでください。

＊ ポータブルCDプレーヤーなどのステレオミニジャックにつなぐときは別売りの接続コードRK-G136をお使いください。

ご注意

接続コードには抵抗の入っていないものをお使いください。

1 録音用ミニディスクを入れる。

2 録音モードボタンをくり返し押して「SP」、「LP2」、「LP4」、または「MONO」を点灯させる。

録音モードについて詳しくは「長時間録音する」（20ページ）をご覧ください。

3 録音ボタンを押す。

「REC」が表示され、録音ランプが点灯し、録音が始まります。

4 録音もとの機器の再生を始める。

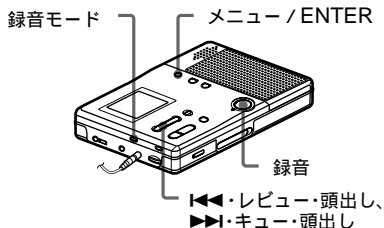
その他の操作は「録音する」（15ページ）をご覧ください。

ご注意

II・一時停止ボタンを押したあと、もう一度押して一時停止を解除すると、解除したところで区切り番号が1つ増え、そこから次の録音内容として記録されます。

再生側に合わせて録音を始める／止める

（シンクロ録音）

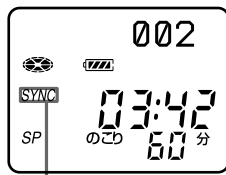
光デジタルケーブルを使ってつないだCDプレーヤーなどのデジタル機器から本機へデジタル録音するときに、録音もとと本機のそれぞれを操作する手間を省き、簡単に録音できます。また、録音もとの音源と、同じ区切り番号が自動的につきます。

1 録音モードボタンをくり返し押して「SP」、「LP2」、「LP4」、または「MONO」を点灯させる。

録音モードについて詳しくは「長時間録音する」（20ページ）をご覧ください。

2 メニュー／ENTERボタンを押す。

3 ⏮または⏭ボタンを押して「REC SET」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

4 ⏮または⏭ボタンを押して「SYNC REC」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

5 ⏮または⏭ボタンを押して「SYNC ON」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

シンクロ録音表示

「SYNC」が表示されます。
光デジタルケーブルが本機の外部入力（オプティカル）ジャックにつながれていないと「SYNC」は表示されません。

6 録音ボタンを押す。

録音一時停止になります。

7 録音もとの機器の再生を始める。

再生側の音が出ると、自動的に本機で録音が始まります。

録音をやめるには

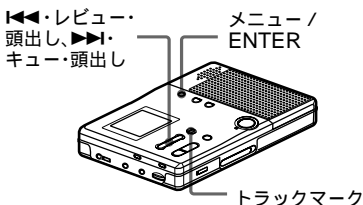
■・停止ボタンを押します。

シンクロ録音中に録音もとで3秒以上の無音が続くと本機は自動的に録音一時停止になります（61ページ）。再び音を検知すると、シンクロ録音に戻ります。録音一時停止状態が5分以上続くと、自動的に録音が止まります。

ご注意

- シンクロ録音中は、手動で一時停止することはできません。
- 手順6の後では、シンクロ録音の設定を切り換えないでください。正しく録音されないことがあります。
- シンクロ録音中は録音モード（SP、LP2、LP4またはモノラル）を切り換えることはできません。
- シンクロ録音中に録音もとで無音状態（61ページ）が続いても、録音もとのノイズレベルが原因で、自動的に録音一時停止にならない場合があります。
- シンクロ録音中に、録音もとの同一区切り内で無音部分が2秒以上続くと、区切り番号が1つ増えてしまいます（61ページ）。
- マイク（プラグインパワー）ジャックを使用したり、光デジタルケーブル以外のケーブルを使用した場合は、シンクロ録音できません。

録音中に頭出しマークをつける

録音中に頭出しマーク（区切り番号）をつけて、録音内容に区切りをつけることができます。

手動でつける

1 **録音中、頭出しマークをつけたいところでトラックマークボタンを押す。**

自動でつける（オートタイムマーク）

会議や講義など、長い録音をするときに、10分ごとに頭出しマークを自動的につけて、途中に目印をつけることができます。マイク録音、またはアナログ録音時にのみ設定することができます。

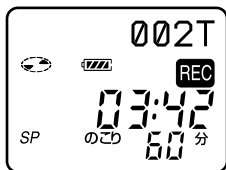
1 **録音中または録音一時停止中に、メニュー／ENTERボタンを押す。**

2 **⏮または⏭ボタンを押して「REC SET」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

3 **⏮または⏭ボタンを押して「TIME MARK」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

4 **⏮または⏭ボタンを押して「MARK ON」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

「10min.ON」と表示され、設定が確定します。

その後、区切り番号の後ろに「T」と表示されます。

設定を解除するには

手順4で「MARKOFF」を選ぶ。または■・停止を押して録音を停止する。

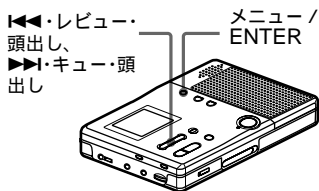
録音中のオートタイムマークのつきかた

- 録音時間が10分を超えていたとき：設定をしたところで頭出しマークがつき、以後10分ごとに頭出しマークがつく
  例）録音時間12分のときに、頭出しマークの設定がされた場合
  実際に頭出しマークがつくのは、12分、22分、32分、42分・・・
- 録音時間が10分より短いとき：録音時間が10分に達したときから10分毎に頭出しマークがつく
  例）録音時間3分ときに、頭出しマークの設定がされた場合
  実際に頭出しマークがつくのは、10分、20分、30分、40分・・・

ご注意

録音を止めると、設定は解除されます。

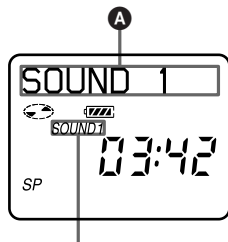
音質を変える

お好みの音質を選んで再生することができます。この設定は、特に人の声が強調されて聞こえるようになりますので、会議などを録音したものを聞くときに、便利な機能です。

1 **メニュー／ENTERボタンを押す。**

2 **⏮ または⏭ボタンを押して「SOUND」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

3 **⏮ または⏭ボタンを押してお好みの音質を選び、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

押すたびに表示Ⓐは次のように変わります。

メニュー／ENTERボタンを押すと、サウンド表示が点灯します。

次ページへつづく

A	音質
SOUND OFF	お買い上げ時の設定
SOUND 1	人の声を強調して再生
SOUND 2	さらに人の声を強調して再生

音質を元に戻すには

手順3で「SOUND OFF」選びます。

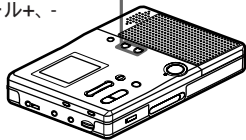
ご注意

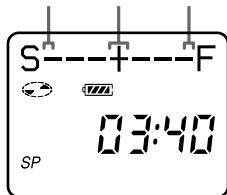
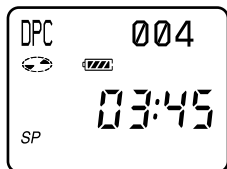
- 「SOUND 1」または「SOUND 2」を使っているときに音量を上げすぎると、音が割れたり、ひずんだりすることがあります。その場合は、本体の音量を下げるか、設定を換えてください。
- 「SOUND 1」または「SOUND 2」の設定は、録音される音には影響しません。
- 再生速度を変えているときは、音質を変えることができません。

再生速度を変える

（スピードコントロール）

再生速度を変えたいときに便利です。音程を変えずに、再生速度だけが変わります（DPC機能*）。+100%〜–50%までの13段階から再生速度を選ぶことができます。

* DPCは「デジタルピッチコントロール（Digital Pitch Control）」の略です。

1 再生中にスピードコントロール+、–ボタンを押す。

再生速度は+ボタンを押すと速く、–ボタンを押すと遅くなります。音を聞きならが選んでください。再生速度が変わると、表示窓に「DPC」と表示されます。

再生速度が変わると「DPC」が表示されます。

通常の再生に切り換えるには

►・再生ボタンまたはスピードコントロール+、–ボタンを押して0%に戻します。

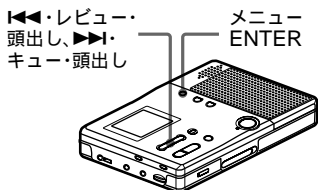
- ディスクを出し入れすると、設定は解除されます。
- 再生速度が変わっているときに❚❚・一時停止ボタンや|◄◄・レビュー・頭出し、►►|・キュー・頭出しボタンを使って、通常の再生中と同様に一時停止や頭出しをすることもできます。

ご注意

- 再生音を変えると、再生中に「プチプチ」という音が聞こえたり、エコーがかかったように聞こえることがあります。
- 音質を変えているときに再生速度を変えると、音質の設定（「SOUND 1」または「SOUND 2」）は働かなくなります。再生速度を「0%」に戻すと、音質の設定は元に戻ります。

再生モードを選ぶ

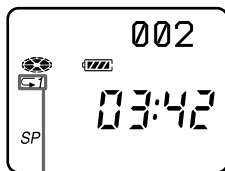
（1区切り再生・リピート再生）

ディスクの1区切りの録音内容を1回再生したり、1区切りのリピートや、全部のリピートをすることができます。

1 **再生中に、メニュー／ENTERボタンを押す。**

2 **⏮または⏭ボタンを押して「PLAY MODE」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

3 **⏮または⏭ボタンを押して「Normal」または「1 Track」を選び、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**
Normal：通常再生
1 Track：1区切りの録音内容を再生

4 **⏮または⏭ボタンを押して「RepeatOFF」または「RepeatON」を選び、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**
RepeatOFF：繰り返さずに再生
RepeatON：手順3で選んだ再生モードを繰り返して再生

決定すると表示窓に再生モード表示が点灯します。

再生モード表示

表示	選んだ再生モード
–	「Normal」で「RepeatOFF」（通常再生）
1	「1 Track」で「RepeatOFF」（1区切りの録音内容を再生）
↻	「Normal」で「RepeatON」（ディスクの内容のすべてをくりかえし再生）
↻ 1	「1 Track」で「RepeatON」（再生中の1区切りの録音内容をくりかえし再生）

ご注意

グループ設定されたディスクでは、手順3でグループ再生モード（📁）も表示されます。詳しくは「グループで再生する」（35ページ）をご覧ください。

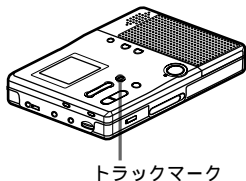
編集する前に

ミニディスクにトラックマーク（曲番）をつけたり、録音内容の順番を変えたりすることができます。

ご注意

- 再生専用ミニディスクの編集はできません。
- 誤消去防止つまみを閉めてください（48ページ）。
- 「TOC Edit」表示中は編集内容をディスクに記録しています。
  — 衝撃を与えないでください。
  — 電源を抜かないでください。
  — ふたは開きません。

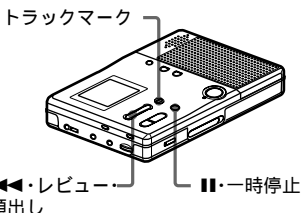
頭出しマークをつける

録音内容の途中に、録音の区切りとなる頭出しマークをつけて、そこから後ろを次の区切りの録音内容にすることができます。1枚のミニディスクには254個までの頭出しマークをつけることができます。

1 録音中、再生中、または再生一時停止中に、頭出しマークをつけたい位置でトラックマークボタンを押す。

「MARK ON」が表示され、録音の区切り番号が1つ増えます。そこから次の区切りとして記録されます。

頭出しマークを消す

頭出しマークを消し、前後の録音内容を1つの区切りとしてまとめることができます。区切り番号は次のようになります。

例：2番目と3番目をつなげたいとき

1 頭出しマークを消したい録音内容を再生し、❚❚・一時停止ボタンを押して再生一時停止にする。

3番目を再生し、一時停止にします。

2 ⏮ボタンを短くチョンと押して、頭出しマークを消したい録音内容の先頭（00:00）にする。

3番目の先頭にします。
「MARK」が2秒間表示されます。

3 トラックマークボタンを押す。

「MARK OFF」が表示され、指定した1区切りの録音内容が前の区切りの録音内容につながります。

録音内容の設定は、2つあった区切りの1つめのものになります。

ご注意

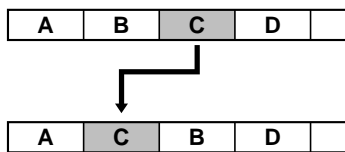
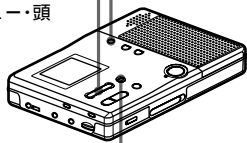
- 別々のグループに属する連続した2つの録音内容をつなぐと、前の録音内容が属するグループに登録されます。また、グループ登録された録音内容とされていない連続した内容をつなぐと、後ろの録音内容は前の録音内容の設定と同じになります。例えば、前の録音内容がグループ登録されていたら、後ろの録音内容もグループ登録されます。
- システム上の制約により、頭出しマークが消せない場合があります。

順番を変える（ムーブ）

各区切りの録音内容を移動して、順番を変更できます。

ご注意

グループ設定されたディスク内の録音内容の順番を変えるときは、38、39ページをご覧ください。

例:3**番目の録音内容**(C)**を**2**番目に移動するとき**

1 移動したい録音内容の再生中にメニュー／ENTERボタンを押す。

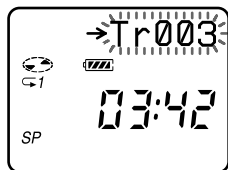
2 ⏮または⏭ボタンを押して、「EDIT」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

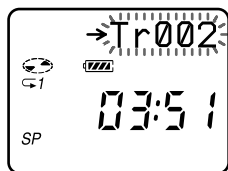
1区切りのリピート再生になります。

3 ⏮または⏭ボタンを押して、「MOVE」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

次ページへつづく

4 **⏮または⏭ボタンを押して、「♫ : Move」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押す。**

再生中の録音内容の区切り番号が点滅します。

5 **⏮または⏭ボタンをくり返し押して、移動先の区切り番号を指定する。**

例ではCを2番目に移動したいので、表示窓に「Tr002」が点滅するようにします。

6 **メニュー／ENTERボタンを押す。**

指定した位置に移動したい録音内容が移ります。

途中で中止するには

■・停止ボタンを押します。

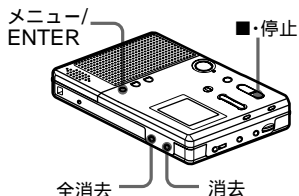
録音内容を消す(イレース)

不要になった録音内容や、ディスク内の録音内容を丸ごと削除することができます。

ご注意

グループを消すときは39ページをご覧ください。

1区切りの録音内容を消す

一度消した録音内容は元に戻すことができません。必ず録音内容を確認してから消してください。

1 **消したい録音内容の再生中に、消去ボタンを押す。**

表示窓に「消去」が点灯し、「Erase OK?」と「PushENTER」が交互に表示されます。

2 **メニュー／ENTERボタンを押す。**

指定した区切りの録音内容が消去され、次の区切りの録音内容の再生になります。後の区切り番号は1つずつくり上がります。

途中で中止するには

■・停止ボタンを押します。

短い1区切りの録音内容を消すには

再生一時停止状態にしてから手順1、2を行います。

1区切りの録音内容から1部分だけを消すには

無音部分など不要な部分だけを消したいときは、不要な部分の始まりと終わりに頭出しマークをつけて（30ページ）、その部分を消してください。

ディスクのすべての録音内容を消す

一度消したディスクは元に戻すことができません。必ずディスクの内容を確認してから消してください。

1 **消したいディスクを再生し、ディスクの内容を確認してから、■・停止ボタンを押す。**

2 **停止中に、全消去ボタンを押したまま、消去ボタンを押す。**
表示窓に「消去」が点灯し、「AllErase?」と「PushENTER」が交互に表示されます。

3 **メニュー／ENTERボタンを押す。**
「TOC Edit」表示が点滅し、録音内容がすべて消去されます。消去が終わると「BLANKDISC」と表示されます。

途中で中止するには

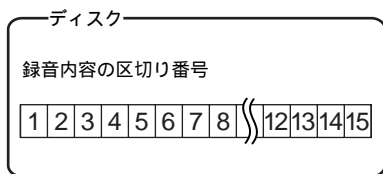
■・停止ボタンを押します。

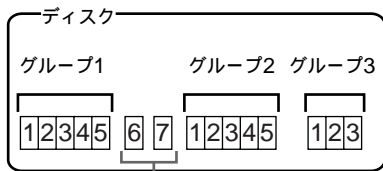
グループ機能とは

グループ設定されたディスクで、「グループ機能」を使うことができます。MDLP（LP2/LP4）モードで、長時間録音をしたときに便利です。

グループ設定されたディスクとは？

1枚のディスク内で、録音された複数の録音内容が、次の図のようにいくつかのグループにまとまっていることをいいます。

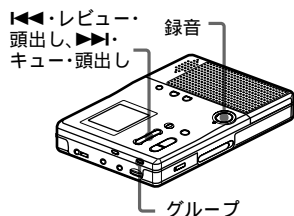
グループ設定前

区切り番号1~5を「グループ1」に
区切り番号8~12を「グループ2」に
区切り番号13~15を「グループ3」に
区切り番号6、7はグループに入れない

グループ設定後

グループに入っていない録音内容は「Group - -」に属しているとみなされる。

1枚のディスクには最大で99個のグループを作ることができます。

ご注意

1枚のディスク内の録音内容名、ディスク名の合計が最大入力文字数を超えている場合は、グループ設定はできません。

グループで録音する

新しくグループを作って録音する

ディスクの最後に新しいグループを追加して録音します。

1 グループボタンを押したまま、録音ボタンを押す。

2 録音もとの機器の再生を始める。
ディスクの最後に新しいグループが追加されます。

録音を止めるには

■・停止ボタンを押します。
録音を止めると、そこまでが1つのグループとして記録されます。

既存のグループに追加録音する

今あるグループの中に曲を追加します。

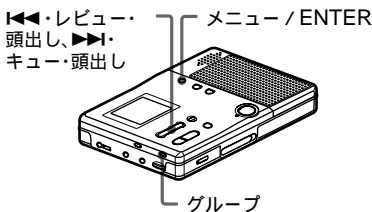
1 GROUPを押し、⏮または⏭ボタンを押して、録音を追加したいグループを表示させる。

2 グループボタンを押したまま、録音ボタンを押す。

3 録音もとの機器の再生を始める。
グループ内の最後に録音内容が追加されます。

- 現在聞いているグループに録音内容を追加して録音するときは、再生を一時停止または停止してから行ってください。
- GROUPボタンを押さなくても、グループ録音になるように設定することができます。詳しくは42ページをご覧ください。

グループで再生する

グループ設定されたディスクではグループ機能を使っていろいろな再生を行うことができます。
グループの再生中、ディスク中でグループに設定されていない録音内容は一時的に1つのグループとしてまとめられ、一番最後のグループとして扱われます。このとき「Group – –」と表示されます。
区切り番号はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

グループ再生する

グループ1から順にグループごとに再生したあと、グループ化されていない録音内容（Group --）を再生して終わります。

1 「再生モードを選ぶ（1区切り再生・リピート再生）」（29ページ）の手順3で「🗀:Normal」を選ぶ。

次の録音内容からグループ再生になります。

2 I◀◀ または▶▶Iボタンを押して、「RepeatOFF」または「RepeatON」を選び、メニュー／ENTERを押して決定する。

グループの頭出し（グループスキップ）をするには

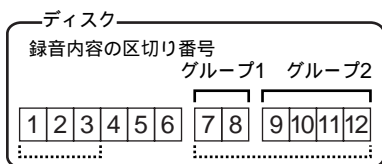
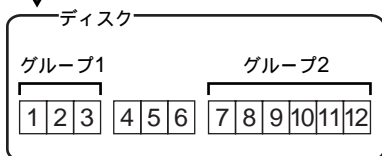
1 再生中、グループボタンを押す。
表示窓に🗀が点滅します。
2 I◀◀ または▶▶Iボタンを押してグループを選ぶ。

グループを繰り返し（グループリピート）聞くには

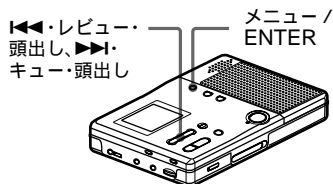
手順2で「RepeatON」を選ぶ。

グループを編集する

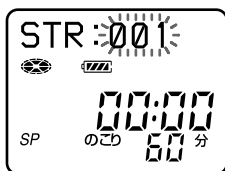
1区切りの録音内容やグループを1つのグループにまとめる（グループ設定）

すでに録音してある録音内容をグループにまとめたり、複数のグループを１つのグループにまとめる、グループに含まれない録音内容をグループに入れることができます。
1枚のディスクには最大で99個のグループを作ることができます。

区切り番号1~3を「グループ1」にまとめる
「グループ1」と「グループ2」を１つのグループにまとめる

1と3、2と4、3と7、8、4と9～12など、連続していない録音内容やグループなどはまとめることができません。
操作中、グループ内の区切り番号はディスク内の通し番号で表示されます。

ご注意

- ディスク内の録音内容に名前がついている場合、ディスク内の録音内容の名前やグループ名、ディスク名の合計が最大入力文字数を超えている場合は、グループ設定はできません。
- まとめることができるのは連続している録音内容またはグループのみです。連続していない録音内容またはグループをまとめたい場合は、録音内容の順番またはグループの順番を並べかえて（38、39ページ）、まとめたい録音内容やグループを連続させてから行ってください。

1 **停止中にメニュー／ENTERを押す。**

2 **I◀◀または▶▶Iボタンを押して、「EDIT」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

3 **I◀◀または▶▶Iボタンを押して、「🗀：Set」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**
STR（先頭の録音内容）の番号が点滅します。

4 ⏮またはボタン⏭ボタンを押して、グループの先頭にしたい録音内容を選んで点滅させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

まとめたいグループの先頭の録音内容が選ばれます。

5 ⏮または⏭ボタンを押して、グループの最後にしたい録音内容を点滅させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

まとめたいグループの最終の録音内容が選ばれます。

「🗀：」が表示され、設定が完了します。

途中で設定を止めるときは

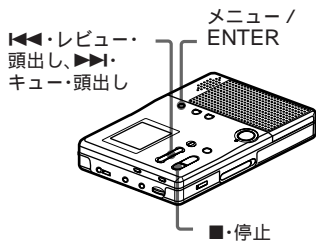
■・停止ボタンを2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■・停止ボタンを押す。

ご注意

- 手順4では、すでにあるグループの先頭曲かグループ設定されていない録音内容しか選べません。
- 手順5で最後の曲を選ぶときは、手順4で選んだ録音内容より後の録音内容しか選ぶことができません。また、まとめたいグループの最後の録音内容は、すでにあるグループの最後の録音内容かグループ設定されていない録音内容しか選べません。

グループを解除する

1 解除したいグループを選び、（「グループで再生する」（35ページ））内容を確認する。

2 ■・停止ボタンを押す。

3 メニュー／ENTERボタンを押す。

4 ⏮または⏭ボタンを押して「EDIT」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

5 ⏮または⏭ボタンを押して「🗀：Release」を表示させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

「Release?」、「PushENTER」が表示されます。

6 メニュー／ENTERを押して決定する。

グループが解除されます。

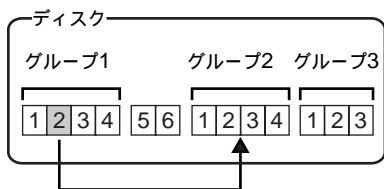
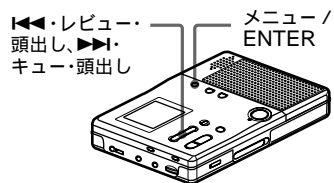
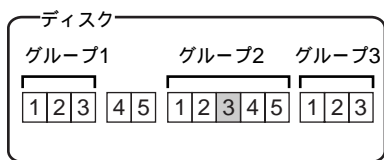
途中で設定を止めるときは

■・停止ボタンを2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■・停止ボタンを押す。

グループ設定されたディスクの録音内容を移動する

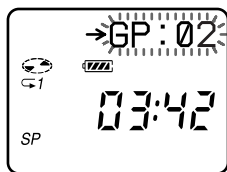
グループ設定されていない録音内容や、グループ内の録音内容を、別のグループやグループの外に移動することができます。

グループ1の中の2番目の録音内容を、グループ2の3番目に移動する。

1 移動したい録音内容の再生中に、メニュー／ENTERボタンを押す。

2 ⏮または⏭ボタンを押して「EDIT」を点滅させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

1区切りのリピート再生になります。

3 ⏮または⏭ボタンを押して「Move」を点滅させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

4 ⏮または⏭ボタンを押して「♫：Move」を点滅させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

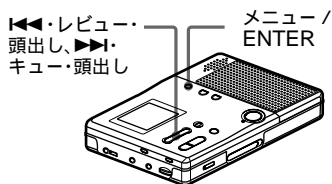
5 グループの外に録音内容を移動する場合は、手順6へ進む。
別のグループ内に録音内容を移動する場合は、⏮または⏭ボタンを押して移動先のグループを点滅させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

6 ⏮または⏭ボタンを押して、グループ内の移動先の区切り番号（グループ内に移動する場合はグループ内の区切り番号）を点滅させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。

途中で設定を止めるときは

■・停止ボタンを2秒以上押す。

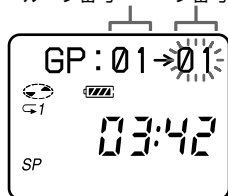
1つ前の設定に戻すときは

■・停止ボタンを押す。

グループの順番を並べかえる（グループムーブ）

1 **移動したいグループ内の録音内容を再生中に、メニュー／ENTERボタンを押す。**

2 **⏮または⏭ボタンを押して「EDIT」を点滅させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

3 **⏮または⏭ボタンを押して「Move」を点滅させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

4 **⏮または⏭ボタンを押して「🗀：Move」を点滅させ、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

5 **⏮または⏭ボタンを押して移動したい場所に移し、メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**

途中で設定を止めるときは

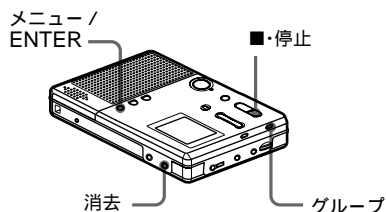
■・停止ボタンを2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■・停止ボタンを押す。

グループを消す

グループ名とグループ内の全ての録音内容を消去します。

一度消したグループは元に戻すことができません。必ずグループの内容を確認してから行ってください。

1 **削除したいグループを選び（「グループで再生する」（35ページ））、内容を確認する。**

2 **■・停止ボタンを押す。**

3 **グループボタンを押したまま、消去ボタンを押す。**
表示窓に「GP Erase?」と「PushENTER」が交互に表示されます。

4 **メニュー／ENTERボタンを押して決定する。**
グループが削除されます。

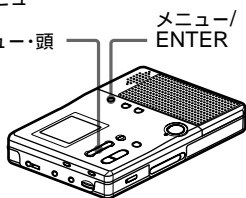
途中で設定を止めるときは

■・停止ボタンを押す。

各種設定

本機では、メニューを使って、録音や再生、編集、その他様々な設定をお好みに合わせて変えることができます。
設定できる項目は以下のとおりです。

	機能		参照ページ
録音	シンクロ録音をする	CDなどからデジタルで録音するとき、録音操作が楽になります。	25ページ
	頭出しマーク（区切り番号）を自動でつける	一定時間ごとに自動で頭出しマークをつける設定ができます。	26ページ
	マイク感度を選ぶ	録音するとき、録音対象に応じてマイク感度を変えられます。	42ページ
	グループ録音する	常にグループ録音になるように設定できます。	42ページ
再生	音質を変える	音声を強調して再生します。2つの強さが選べます。	27ページ
	再生モードを選ぶ	好きな曲だけ再生したり、繰り返し再生したりと、さまざまな再生モードを選べます。	29ページ
	動作を速くする	再生や頭出し、録音停止後の処理などがすばやくできるように設定できます。	43ページ
編集	順番を変える（ムーブ）	録音内容やグループの順番を変えることができます。	1区切りの録音内容は31ページ、グループは38、39ページ
	グループにする	ディスクの中の曲をグループにまとめます。	36ページ
	グループを解除する	グループを解除します。	37ページ
便利な機能	フットコントロールユニットを使う	フットコントロールユニットを使うための設定をします。	43ページ

メニュー操作のしかた

1 メニュー／ENTERボタンを押す。
メニュー画面になります。

2 ⏮ または⏭ボタンを押して、項目を選択する。

3 メニュー／ENTERボタン押して、項目を決定する。

4 表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。
最後にメニュー／ENTERボタンを押した時点で設定が確定します。

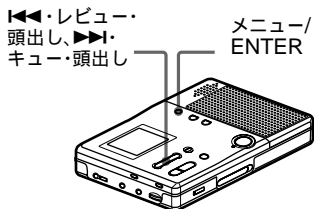
1つ前の段階に戻すには

■・停止ボタンを押す。

途中で中止するときは

■・停止ボタンを2秒以上押す。

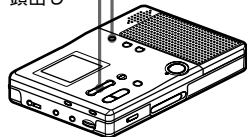
録音をするとき、常にグループにして録音する

この設定をすると、次の録音から録音ボタンを押すだけで常にグループ録音ができるようになります。MDLP録音などで、複数のCDをアルバム別に続けて録音する時などに便利です。

1 **停止中に、メニュー－「REC SET」－「🗀：REC」を選ぶ。**

2 **「🗀：REC ON」を選ぶ。**

設定を戻すには

「🗀：REC OFF」を選ぶ。

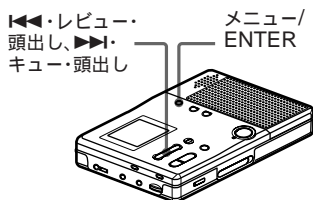
マイク感度を変える

1 **メニュー－「REC SET」－「MIC SENS」を選ぶ。**

2 **「SENS HIGH」または「SENS LOW」を選ぶ。**

「SENS HIGH」：会話など、通常の音量のものを録音するとき

「SENS LOW」：口述録音やライブ録音など、近くの音や大音量を録音するとき

動作を速くする（クイックモード）

再生ボタンを押した後や、録音内容を頭出しした後、すばやく再生音を聞くことができます。また、録音停止直後に録音内容をディスクに記録するための時間が短くなります。

1 停止中または再生中に、メニュー－「OPTION」－「PowerMode」を選ぶ。

2 「QUICK」を選ぶ。

設定を戻すには

「NORMAL」を選ぶ。

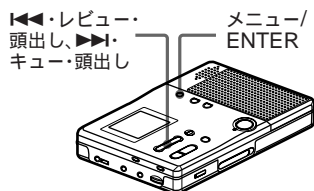
ご注意

- 設定を「QUICK」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなります。特に、録音時の持続時間は以下のようになりますので、ご注意ください。

録音モード	時間
SP	約15時間
LP2	約17時間
LP4	約18時間
モノラル	約17時間

- 何も操作がされない状態（ふたの開閉を含む）で、1時間が経過すると、自動的に本体内部の電源が切れます。次に操作したときの動作は遅くなりますが、その後はまたクイックモードになります。

別売りのフットコントロールユニットを使う

別売りのフットコントロールユニットFS-85B50をつなぐと、録音一時停止／再開や再生／一時停止などの操作が足でできるので便利です。フットコントロールユニットを使うときは、次の操作を行って、本体の設定を変えてください。

1 メニュー－「OPTION」－「FOOT SW」を選ぶ。

2 「SW ON」を選ぶ。

設定を戻すには

「SW OFF」を選ぶ。

ご注意

- お買い上げ時は「SW ON」に設定されています。
- 別売りの液晶表示画面付きリモコンを本体につなぐと、設定は自動的に「SW OFF」に変わります。別売りの液晶表示画面付きリモコンを使った後にフットコントロールユニットを使うときは、もう一度「SW ON」に設定し直してください。

メニュー一覧

メニュー1はメニューに入ったときに選べる項目、メニュー2はメニュー1を選んだ後に選べる項目、メニュー3はメニュー2を選んだ後に選べる項目です。●印がついているものは、お買い上げ時の設定です。

ご注意

表示される項目は、操作状況やディスクの設定により異なります。

メニュー1	メニュー2	メニュー3
EDIT	🗀 : Set	—
	🗀 : Release	—
	Move	♫:Move ⟷ 🗀:Move
PLAY MODE	Normal	RepeatOFF（●）⟷ RepeatON
	1 Track	
	🗀:Normal	
SOUND	SOUND OFF	—
	SOUND 1	—
	SOUND 2	—
REC SET	TIME MARK	MARK OFF（●）⟷ MARK ON
	MIC SENS	SENS HIGH（●）⟷ SENS LOW
	🗀:REC	🗀:REC OFF（●）⟷ 🗀:REC ON
	SYNC REC	SYNC OFF（●）⟷ SYNC ON
OPTION	PowerMode	NORMAL（●）⟷ QUICK
	FOOT SW	SW ON（●）⟷ SW OFF

付属のアルカリ乾電池のほかに家庭用電源（コンセント）でも使うことができます。マンガン乾電池は使用できません。

電池について

電池の持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により短くなることがあります。

電池の持続時間[1](JEITA[2])

録音時[3]

録音モード	時間
SP	約24時間
LP2	約34時間
LP4	約48時間
モノラル	約34時間

再生時

録音モード	スピーカー[4]	ヘッドホン[5]
SP	約45時間	約90時間
LP2	約50時間	約100時間
LP4	約55時間	約110時間
モノラル	約50時間	約100時間

1) ソニースタミナアルカリ乾電池LR6(SG)（日本製）を使用し、「PowerMode : NORMAL」の設定で測定しています。「PowerMode : QUICK」の設定の場合は、持続時間が短くなります（43ページ参照）。
2) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
3) 内蔵マイク録音時。録音するときには電池の消耗による失敗を防ぐため、新しいアルカリ乾電池をお使いください。
4) スピーカー再生時。
5) ヘッドホン再生時。

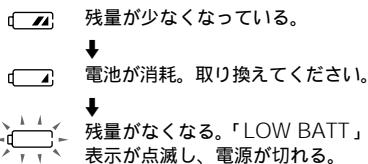
電池交換の目安

乾電池の残量は表示窓の電池残量表示でお知らせします。

本体の表示窓

残量が少なくなっている。

電池が消耗。取り換えてください。

残量がなくなる。「LOW BATT」表示が点滅し、電源が切れる。

電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安としての表示です。動作状況により増減します。

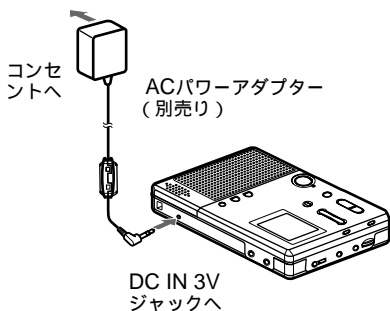
ご注意

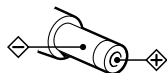
- 電池を交換するときはいったん停止させてから交換してください。
- 長時間録音するときはACパワーアダプター（別売り）を使って、家庭用電源（コンセント）につないで使うことをおすすめします。

コンセントにつないで使う

1 付属のコアを別売りのACパワーアダプターに取り付ける（10ページ）。

2 ACパワーアダプターをDC IN 3Vジャックにつなぐ。

3 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。

ご注意

- 本機をコンセントにつないでご使用になるときは、別売りのACパワーアダプター（極性統一プラグ・JEITA規格）をご使用ください。推奨以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一プラグ

- ACパワーアダプターは、容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は、すみやかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  — 本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  — 火災や感電の危険を避けるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

使用上のご注意

分解しないでください

ミニディスクレコーダーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやステレオイヤーレシーバーのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  — 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  — 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  — 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
  — 風呂場など湿気の多いところ。
  — 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  — ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ(40℃以上)や低いところ(0℃以下)では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- キャリングポーチには本体と一緒に硬いものを入れないでください。塗装のはげや傷の原因になります。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

ミニディスクの取り扱いについて

- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  - — **ミニディスクに直接触れない**
    シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

  - — **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる。**
  - — **置き場所について**
    直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。
  - — **定期的にお手入れを**
    カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。
- ディスクに付属のラベルは、所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせて、貼ってください。

ステレオイヤーレシーバーについて

- 付属のステレオイヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。
- 付属のステレオイヤーレシーバーは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人に迷惑にならないように気をつけましょう。
  雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ステレオイヤーレシーバーで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

お手入れについて

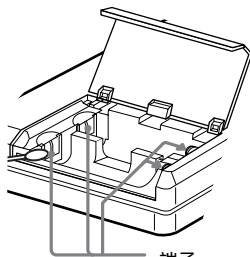
表面のお手入れ

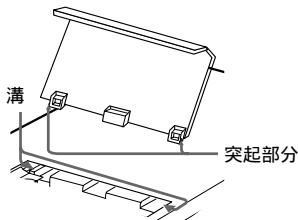
水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

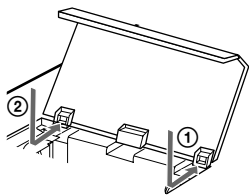
プラグのお手入れ

プラグが汚れていると雑音や音切れの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ステレオイヤーレシーバーの先端のプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

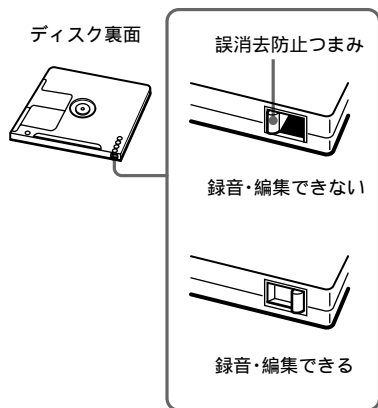
端子のお手入れ

定期的に各端子を綿棒ややわらかい布などできれいにしてください。

電池ぶたの取り付けについて

本体底面の電池ぶたは、強い力で開けようとするとはずれることがあります。ふたがはずれたときは次の手順で取り付けてください。

1 PUSH OPENつまみの突起部分を本体の溝に合わせ、片方ずつしっかりはめ込む。

次ページへつづく

2 ふたの突起部分を、本体に取り付けたPUSH OPENつまみの溝に合わせ、片方ずつしっかりはめ込む。

録音したものを誤って消さないために

誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。再び録音するときはつまみをもとに戻します。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

主な仕様

形式
ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式
磁界変調光学方式

再生読み取り方式
非接触光学読み取り（半導体レーザー使用）

レーザー
GaAIAs MQW、
λ=790 nm

録音再生時間（MDW-80使用時）
モノラル最大　160分
ステレオ最大（LP4）　320分

回転数
約350 rpm〜2800 rpm (CLV)

エラー訂正方式
ACIRC（アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード）

サンプリング周波数
44.1kHz

サンプリングレートコンバーター
入力：32 kHz/44.1 kHz/48 kHz

コーディング
ATRAC（アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング）
ATRAC3 — LP2/LP4

変調方式
EFM

スピーカー
直径 28 mm、2個

周波数特性（光デジタル・アナログ入力）
20 〜 20,000 Hz ± 3 dB

入力端子[1)]

マイク：ステレオミニジャック（最少入力レベル0.25 mV）
外部入力（オプティカル）：アナログ時、ステレオミニジャック（最少入力レベル39 mV）
光デジタル時、光ミニジャック

出力端子

🎧：ステレオミニジャック（専用リモコンジャック）

実用最大出力（DC時）[2)]

ステレオイヤーレシーバー：
5 mW + 5 mW（16Ω）
スピーカー（モノラル）：140 mW（70 mW × 2）

電源

アルカリ乾電池（単3形）2本（付属）
ACパワーアダプター　DC 3V

電池持続時間[2)]

「電池の持続時間」（45ページ）参照

本体寸法

本体　約117.2 × 23.0 × 74.4 mm（幅／高さ／奥行き、突起含まず）

最大外形寸法[2)]

本体　約118.2 × 24.0 × 75.4 mm（幅／高さ／奥行き）

質量

約150 g（本体のみ）
約190 g（本体＋電池）

1) 入力（光デジタル）と入力（アナログ）は兼用ジャック
2) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

別売りアクセサリー

ACパワーアダプターAC-E30L
光デジタルケーブル
　光角形プラグ⟷光ミニプラグ POC-5/10/15AB
　光ミニプラグ⟷光ミニプラグ POC-5/10/15B
接続コード（アナログ）
　ステレオミニプラグ⟷ピンプラグ（×2）RK-G129
　ステレオミニプラグ⟷ステレオミニプラグ RK-G136
ステレオマイクロホン ECM-719
フットコントロールユニット FS-85B50
ステレオイヤーレシーバー＊
MDR-EX71SL、MDR-E838SP
ミニディスク（生ディスク）ESシリーズ

＊ ステレオイヤーレシーバーは、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。（メッセージ一覧（54ページ）も合わせてご覧ください。）メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
また、本書の手順の中や「メッセージ一覧」にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2　ホームページの「Sony Drive」で調べる

ソニーのホームページ（裏表紙）で調べる。
よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

手順3　それでもトラブルが解決しないときは

お客様ご相談センター（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

録音中

症状	原因	対策
録音できない	音源と正しくつながれていない。	つなぎなおしてください（23、24ページ）。
	ポータブルCDプレーヤーからデジタル出力が出ていない。	ポータブルCDプレーヤーを家庭用電源につなぎ、音飛びガード機能（ESPなど）を「切」にしてください。
	抵抗入りの接続コードを使っている（アナログ入力録音時）。	抵抗が入っていない接続コードを使ってください。
	録音中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの録音の内容は消えています。初めから録音しなおしてください。
	再生専用ディスクが入っている。	録音用ディスクと取りかえてください。
	ディスクの残り時間が12秒以下である（「DISC FULL」が表示される。	他の録音用ディスクと取りかえてください。
録音時、瞬間的なノイズが発生する	LP4録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに瞬間的なノイズが発生する。	SP録音またはLP2録音をしてください。
録音終了後、ふたが開かない	録音終了後は「TOC Edit」の表示が消えるまで、ふたは開きません。	—
最大録音可能時間(60分、74分、80分)に達していなくても、「TR FULL」表示が出て録音が開始できない。	システム上の制約です。254個の録音内容が録音されるとそれ以上の録音はできません。	さらに録音を追加するには、不要な録音内容を消して録音してください。
録音内容を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。	システム上の制約です。録音内容が短い場合、いくつか消しても録音できる残り時間が増えないことがあります（62ページ）。	—
ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しない。	システム上の制約です。録音は、何秒かの単位でされるため、短い曲をたくさん録音すると、いわゆる「無駄な」録音部分が増えて、合計時間とあわなくなります（63ページ）。	—
録音内容の数も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て録音が止まる。	システム上の制約です。同じディスクで録音、消去をくりかえしたためと思われます（61ページ）。	さらに録音を追加するには、不要な録音内容を消して録音してください。

再生中

症状	原因	対策
通常の再生ができない	リピート再生を指定している。	メニューのPLAY MODEで「RepeatOFF」にしてから再生を始めてください（29ページ）。
	再生モードを変えた。	メニューのPLAY MODEで通常の再生に戻してから再生を始めてください（29ページ）。
ディスクの最初の録音内容から再生しない	前回再生したときディスクの途中で止めた。	一度停止させ、►・再生ボタンを2秒以上押したままにしてください。
再生中に音がとぎれる	振動の多い場所に置いている。	振動の少ない場所で使ってください。
	1区切りの録音内容の録音時間が極端に短い。	短いトラック（録音内容）を作らないでください（62ページ）。
雑音が多い	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置いてください。
録音したMDを再生すると、音が小さい。	アナログで録音した。（デジタル録音の場合は、自動的に録音元と同じレベルで録音されます。）または、抵抗の入っている接続コード（別売り、RK-G128/RK-G134など）を使って録音した。	正しい接続コード（別売り、RK-G129/RK-G136など）を使う。
ステレオイヤーレシーバーから音が出ない	ステレオイヤーレシーバーがしっかり差し込まれていない。	🎧ジャックにしっかり差し込んでください。
	プラグが汚れている。	ステレオイヤーレシーバーのプラグ部分を乾いた布などで拭いてください。
早送りまたは早戻しをするといくつか先または前の録音内容に飛んでしまう	グループスキップが働いている。	何も操作せずに5秒以上待つと、自動的にグループスキップが解除されます。
編集した録音内容を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる	システム上の制約です。再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、音がとぎれることがあります（62ページ）。	—
ラジカセやアンプなどを使って録音したものを再生をする、またはラジカセやアンプなどをつないで再生をすると、片方の音が出ない	ラジカセやアンプなどにモノラルのコードを使って接続すると、片方（R CH）の音が出ません。	必ずステレオのコードを使ってください。接続先の機器がモノラル使用の場合は、ステレオのコードを使っても片方（R CH）の音は出ません。
別売りのフットコントロールユニットがうまく働かない	本機で、フットコントロール用の設定がされていない。	メニューの「FOOT SW」の設定を「SW ON」にしてください（43ページ）。

編集中

症状	原因	対策
ふたが開かない	編集中に電源をはずしたり電池が消耗している。	新しい乾電池と交換してください。
本機で編集できない	編集中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの編集内容は消えています。やり直してください。
頭出しマーク（区切り番号）が消せない	システム上の制約です。つなごうとする録音内容のデータが短い場合、その録音内容の頭出しマークを消して前の録音内容とつなぐことはできない場合があります。また、異なる録音モードで録音された録音内容の間の頭出しマークは消すことができません（61ページ）。	—
他機種で編集ができない	長時間録音モードに対応していない機器で編集しようとした。	本機、または他の長時間録音モードに対応している機器で編集してください。

グループ機能中

症状	原因	対策
グループ機能が働かない	グループ設定されていないディスクが入っている。	グループ設定されているディスクを入れてください。
新しいグループが録音されない／新しいグループを設定できない	システム上の制約です。ディスクに入力されている文字数の合計が約1700文字を超えた場合、グループで録音しても新しいグループは作成されません。また、グループ設定しようとしてもできません（63ページ）。	—

その他一般

症状	原因	対策
操作を受けつけない、または正しく動作しない	音量が小さくなっている。	音量を上げる。
	ディスクが入っていない。	録音済みのディスクを入れてください。
	ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る）。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください（12、14ページ）。
	ふたがしっかりと閉まっていない。	カチッと音がするまでふたを閉めてください。

症状	原因	対策
操作を受けつけない、または正しく動作しない	結露（内部に水滴が付着）している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おいてください。
	電池が消耗している（「LOW BATT」表示が点滅または何も表示されない）。	乾電池を新しいものと交換する（14ページ）。
	乾電池が正しく入れられていない。	乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れなおしてください（14ページ）。
	損傷しているディスク、または録音や編集の内容などの情報が正しく入力されていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおしたり、録音しなおしてください。それでもエラー表示が出るときは、他のディスクと取りかえてください。
	使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けている。	次の手順で操作しなおしてください。 **1** 電源をはずす。（乾電池を取り外す。別売りのACパワーアダプタを使っているときは、ACパワーアダプターをはずす。） **2** 約30秒間そのままにする。 **3** 電源を入れる。（乾電池を入れ直す。別売りのACパワーアダプタを使っているときは、ACパワーアダプターをつなぐ。）
液晶表示が通常表示と違う	電源を抜いた。	しばらく放置する。または電源を入れていずれかの操作ボタンを押してください。

メッセージ一覧

本体の表示窓にメッセージが出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味	対策
BLANK DISC	何も録音されていないディスクが入っている。	—
BUSY	録音または編集の内容の処理をしている。	しばらく待つ。まれに1分ほどかかる場合があります。
DISC FULL	ディスクの残り時間が12秒（24秒または48秒）以下である（録音時）。	他の録音用ディスクと取り換える。
ERROR	内部システムが誤動作している。	上の表中の手順1~3を行う。 それでもメッセージが表示される場合は、お客さまご相談センター（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

表示	意味	対策
GroupFULL	100個めのグループを作ろうとした。	グループは99個まで作れます。99個以内でグループを作ってください。
Hi DC in	電源電圧が高い（指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使っていない）。	指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使う。
HOLD	ホールド機能が働いている。	本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する（12、14ページ）。
LOW BATT	電池が消耗した。	新しい乾電池と入れ換える（14ページ）。
MEM OVER	振動のあるところで録音を始めた。	振動のないところで録音をする。
NO COPY	シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）によりダビングは禁止されている。	アナログ入力（LINE IN）を使って録音する（24ページ）。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO EDIT	グループ設定されていないディスクで、グループを消そうとした（39ページ）。	グループ設定がされていないディスクではグループを消すことはできません。
	録音モードの異なる録音内容を１つにつなげようとした（30ページ）。 頭出しマークの上に頭出しマークを上書きしようとした（30ページ）。 録音中に、メニューの「:Set」、「:Release」、「Move」を選んだ、または録音内容を消そうとした。	—
No SET	録音中に次の操作をしようとした。 • 録音モードの設定をしようとした（20ページ）。 • メニューの「:REC」を選んだ（42ページ）。 •「End」表示が出ているときに、再生モードの設定をしようとした（29ページ）。	—
NoOPERATE	シンクロ録音中にII・一時停止ボタンまたはトラックマークボタンを押した。 デジタル接続で録音中にオートタイムマークの設定をしようとした（26ページ）。	—
NO SIGNAL	デジタル入力信号が途切れた。	光デジタル入力の接続を確かめる。アナログ入力（LINE IN）するときは無視する。
P/B ONLY	再生専用ディスクが入っている。	録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED	ディスクが誤消去防止状態になっている（48ページ）。	誤消去防止つまみを戻す。

表示	意味	対策
READ ERR	ディスクの情報を正しく読み取れなかった。	ディスクを入れ直す。
REC ERR	正しく録音できなかった。	振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す。
	ディスクにひどい汚れ（油膜、指のあとなど）や傷がある、またはディスクが規格外である。	ディスクを交換して録音をやり直す。
SEL Group	停止中や再生中、グループに入っていない録音内容を選んだ状態で「:Move」を選んだ、またはグループを消そうとした。	編集したいグループ内の録音内容を選んだ状態で、もう一度操作する。
SEL Track	再生が終わったとき、本機が停止した状態で「:Move」を選んだ、または録音内容を消そうとした。	編集したい録音内容を選んだ状態で、もう一度操作する。
TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TOC Edit	録音した情報（録音内容の開始・終了位置など）をディスクに記録している（58ページ）。	しばらく待つ（衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない）。
TOC ERR	ディスク情報を正しく読み取れなかった。	他のディスクを入れてみる ディスクの内容を全て削除してよいときは、記録されている内容を全て削除する（33ページ）。
TR FULL	録音内容の区切りが254個を超えた。	頭出しマーク（区切り番号）を削除して254以下にする。
TrPROTECT	トラックプロテクト（録音内容の誤消去防止）がかかっている録音内容に録音・編集をしようとした。	他の録音内容で録音・編集する。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを
  この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときは
  お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間について
  当社ではポータブルミニディスクレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

こんなこともできます

ここではポータブルMDプレーヤーをお使いになる際に知っておくと便利な情報を、Q&A形式で簡単に説明します。

MD一般

Q1:「TOC Edit」とは？

A1: TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上の領域です。
どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。
録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などの際、ミニディスクレコーダーはTOCの書き換え作業を行います（「TOC Edit」が表示されます）。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

Q2: サンプリングレートとは？

A2: サンプリングレートとは、1秒間の音声をどれだけの量のデジタル信号にするかを表す数値です。
一般に数値が大きいほど高音質になります。サンプリングレートの異なる機器同士では、通常デジタル信号によるダビングはできません。これを可能にするのが、サンプリングレートコンバータです。コンバータは、デジタル信号を他のサンプリングレート用のデジタル信号に変換します。本機はこのコンバータを内蔵しています。光デジタル入力端子に入ってきたサンプリングレートの異なる信号（BSチューナー:32kHz, DAT:48kHzなど）は、コンバータによって、MDのサンプリングレート（44.1kHz）に変換されて録音されます。

Q3: ATRAC/ATRAC3用DSP TYPE-Sとは？

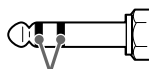
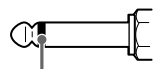
A3: ソニーのハイスペックMDデッキに搭載されているATRAC用DSP TYPE-Sを採用。長時間ステレオ録音が魅力のMDLPモード再生時に高音質で楽しめます。また、このDSPにはATRAC用DSP TYPE-Rの演算能力も継承されていますので、標準録音モードでの録音・再生にも優れています。

Q4: ステレオプラグとモノラルプラグの見分けかたは？

A4:

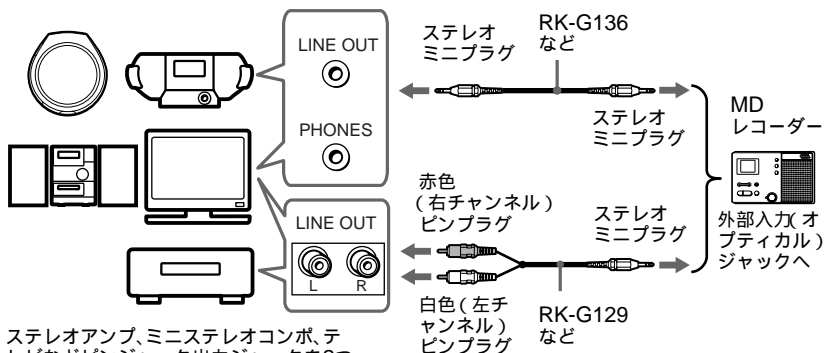
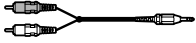
ステレオプラグ:
絶縁の帯が２つ

モノラルプラグ:
絶縁の帯が1つ

録音

Q1: MDでは何が録音できるの？

A1: アナログ入力とデジタル入力、両方の録音ができます。本機ではアナログ入力、デジタル入力に、LINE IN(OPT)ジャックを使います。

アナログ入力：

- マイクからの録音
- 接続コードをつないで録音（テレビ、ラジオ、カセット、CD、MD、ラジカセ、ステレオコンポ、アンプ、アナログプレーヤーなどからの録音）

デジタル入力：

- 光デジタルケーブルをつないで録音（CD、MD、DAT、DVD、BS、CS放送など）

録音するときは、録音元の音声出力端子の形状を確認し、適切な接続コード、光デジタルケーブルをお使いください。

次ページへつづく

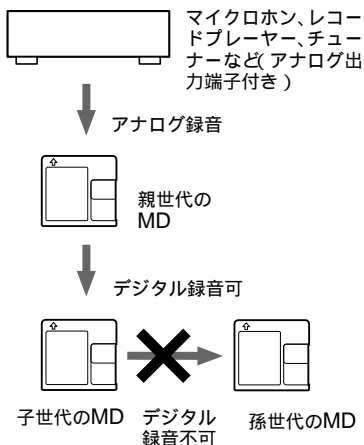
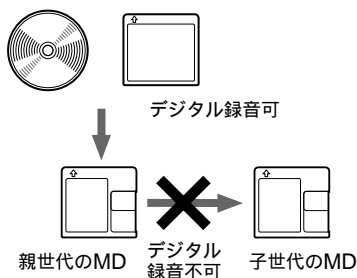
	録音元	出力端子	形状	使うケーブル[1]
アナログ入力	テレビ、ラジオ、カセット、CD、MD、ラジカセ、ステレオコンポ、アンプなど	LINE OUT AUX OUT REC OUTなど	ピンジャック L R	ピンプラグ←→ステレオミニプラグ（RK-G129など）
			ステレオミニジャック	ステレオミニプラグ←→ステレオミニプラグ’(RK-G136など）
		HEADPHONES Phones 🎧など[2]	ステレオミニジャック[3] (Headphones)	ステレオミニプラグ←→ステレオミニプラグ’(RK-G136など）
	マイク[4]	—	—	マイク：ステレオミニプラグ（ECM-719など）
デジタル入力	CD、MD、DAT、DVD、BS、CS放送など	OPTICAL OUT DIGITAL OUT など[5]	光角型ジャック	光角型プラグ←→光ミニプラグ（POC-15ABなど）
			光ミニジャック	光ミニプラグ←→光ミニプラグ（POC-15Bなど）

1) 詳しくは、49ページをご覧ください。
2) 音が歪まないように、つないだ先の音量を調節してください。
3) ヘッドホンジャックの穴径が3.5mmより太いとき（穴径6.3mm）は、プラグアダプターPC-234SまたはPC-234HSをお使いください。
4) 別売りのマイクを使っての録音について、詳しくは21ページをご覧ください。
5) 同軸（COAXIAL)の出力端子からは録音できません。

Q2: 光デジタル出力ジャックがない機器から録音できますか？

A2: デジタル録音はできませんが、アナログ出力ジャック（LINE OUT/AUX OUT/REC OUT/CD OUT ジャック、ヘッドホンジャックなど）を使えば、アナログ録音はできます。
ヘッドホンジャックから録音する場合、音が歪まないように、つないだ先の機器の音量を調整してください。

Q3: デジタル録音をしたMDを他のMDに録音できますか？

A3: CDや再生専用MDなどの市販ソフトから、光デジタル入力端子を使って録音したミニディスクは、さらに他の機器でデジタル録音することはできません。
本機は、音楽ソフトの著作権を保護するため、「シリアルコピーマネジメントシステム（SCMS)」に準拠しています。光デジタル入力で録音したミニディスクを別のミニディスクに録音するには、アナログ入力（LINE IN）を使ってください。

ご注意

著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

Q4: MDの頭出しマーク（区切り番号／曲番）はどうやってつくの？

A4: CDなど曲番のついたメディアから録音した場合、レコーダーは次のような条件で 区切り番号（曲番）をつけます。

デジタル入力からの録音→録音元のCDなどと同じところにつく。

アナログ入力からの録音→2秒間以上無音状態が続き、その後音声が入ってきたときにつく。

なお、CDで「-0:03」から新しい曲番が始まっているときは、0:00になった時点でMDに新しい区切り番号（曲番）がつきます。

Q5: 無音レベルとは？

A5: 本機ではアナログ入力時は約4.8 mV、光デジタル入力時はフルビットを0 dBとした場合、約–89 dB以下の入力レベルです。

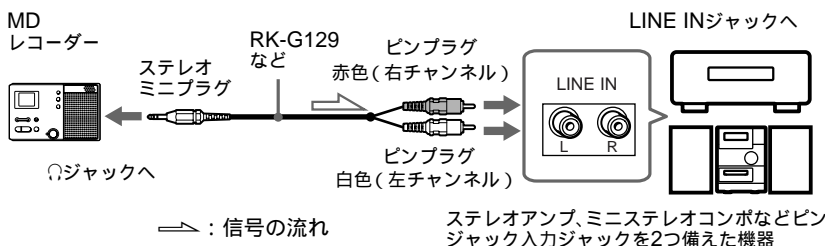
Q6: 録音内容の数も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て、録音が止まるのはなぜ？

A6: システム上の制約です。

同じディスクで録音、消去をくりかえすと、1つの録音内容のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは1つの区切り（1曲）と同じ扱いになり、データが全部で254個になると、録音できなくなります。さらに録音を追加するには、不要な録音内容を消して録音してください。

再生

Q1: ステレオコンポやラジカセ、アンプなどにつないでMDレコーダーの音を再生するには？

A1: MDレコーダーの🎧ジャックと、ラジカセやアンプなどのLINE IN/AUX IN/REC INなどの入力ジャックにつなぎ、MDレコーダー側で操作します。

Q2: 編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれるのはなぜ？

A2: システム上の制約です。

再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、短い録音内容がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

編集

Q1: 頭出しマーク（区切り番号／曲番）が消せないのはなぜ？

A1: 以下の場合はシステム上の制約により、頭出しマークが消せません。

- つなごうとする録音内容のデータがディスク上に分散し、それぞれのデータの長さが短い（SP録音時は12秒以下、LP2／モノラル録音時は24秒以下、またはLP4録音時は48秒以下）のとき、その録音内容の頭出しマーク（曲番）を消して前の録音内容とつなぐことができない場合があります。
- 異なる録音モード（例えば、LP2とLP4など）で録音された録音内容の間の頭出しマークは消すことができません。

Q2: 1区切りの録音内容を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えないのはなぜ？

A2: システム上の制約です。

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下（SP録音時）、24秒以下（LP2録音、モノラル録音時）、または48秒以下（LP4録音時）の部分は無視します。このため、短い録音内容をいくつ消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

Q3: ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間（60分、74分、80分）に一致しないのはなぜ？

A3: システム上の制約です。

通常、録音はSP録音時で約2秒、LP2録音またはモノラル録音時で約4秒、LP4録音時で約8秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒（4秒または8秒）に満たない場合でも約2秒（4秒または8秒）分のスペースを使います。また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約2秒（4秒または8秒）分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の録音内容を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒（12秒または24秒）ずつ短くなります。

グループ機能

Q1:「グループ設定」の方法は？

A1: 4つの方法があります。詳しい手順については、参照ページをご覧ください。

録音前

- メニューの「:REC」の設定を「:REC ON」にする。（「録音をするとき、常にグループにして録音する」（42ページ））

録音時

- 新しいグループを作って録音する
  停止中に録音を始めると、新しいグループを作ってそのグループの中に録音します。
  （「新しくグループを作って録音する」（34ページ））
- 既存のグループに新しく録音する
  グループを選んでから録音します。（「既存のグループに追加録音する」（34ページ））

録音後

- 録音済みのディスクをグループ設定する
  グループにしたい録音内容の始めと最後の録音内容を選んでグループ設定します。（「1区切りの録音内容やグループを1つのグループにまとめる（グループ設定）」（36ページ））。

Q2: はなれている録音内容やグループを1つにまとめるには？

A2: あらかじめ、まとめたい録音内容やグループをとなり合わせに連続させた後、グループ設定を行います。

詳しくは「順番を変える（ムーブ）」（31ページ）、「グループの順番を並べかえる（グループムーブ）」（39ページ）をご覧ください。

Q3: 新しいグループが録音されない、新しいグループを設定できないのはなぜ？

A3: ディスク全体の入力文字数の合計が制限を超えたためかもしれません（システム上の制約）。

グループ情報はディスク名の領域を使って行われます。ディスク名と1区切りの録音内容の名前は同じ領域に記録され、最大文字数はディスク名（グループ情報含む）と録音内容名合計で約1700文字です。この文字数を超えた場合、グループモードで録音しても新しいグループは作成されません。また、グループ設定しようとしてもできません。

お問い合わせ先について

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記までお知らせください。

- 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]−[ウォークマン]です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - — 型名：
  - — ご相談内容：できるだけ詳しく
  - — お買い上げ年月日

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル …………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ……………………0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

VOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Malaysia